



# ま とく れい こう 磨徳励行

自ら考え  
進んで行動し  
学び続ける  
『キラリと光る励徳っ子』



第43号  
R6.3.7発行  
文責 永田 功臣

## ラストスパート！ 今年度の締めくくり

早いもので3月に入りました。いよいよ今年度最後の月となります。いろいろな行事も最後となり、子どもたちの、今年度をしっかりとやり遂げたいという気持ちと次年度に向けた気持ちが高まっています。

### ＜児童集会＞

先月末には、最後の児童集会を開き、「礼トーク」の取組状況説明や次年度に向けた「励徳チャンピオンシップ」の意見集約を行いました。4・5年生を含め、主体的に運営ができていました。明日の「お別れ会」「お別れ遠足」から新企画委員会で動き出します。「自分たちで楽しい学校をつくる」という気持ちで、これからも児童会を盛り上げていってほしいと思います。



### ＜卒業式練習＞

今週から卒業式に向けた練習も始まっています。卒業生と在校生が分かれて練習を行っていますが、まずは、それぞれの立場で歌やメッセージに思いを込めて、それが伝わるような声や動作を心がけてほしいと思います。



今年度最後の大きな行事です。送り出す側、旅立つ側のどちらも充実感が味わえるよう、さらに気持ちを高めていきたいと思います。



### ＜地区児童会＞

6日（水）には、地区児童会を開き、今年度の登下校の反省と新入生受け入れに向けた打ち合わせを行いました。登校状況を毎日見っていますが、6年生を中心に下級生をリードしながら「大きな声でのあいさつ」「安全面の注意」「見守りボランティアへのお礼の言葉」等がきちんとできています。欲を言えば、止まっていたいただいた車へのお礼も下級生が見習ってできるようになればいいなと感じています。



## ☆はらから☆

～卒業・進級に向けて～

「三学期の過ごし方」  
五年 山田 静衣  
六年生になる実感がなく、最高学年になるというのが信じられないなと思っています。  
三学期に得意になりたいことは「漢字」です。「漢字」は苦手だけれど、あきらめずに続けることで、まずは得意になりたいと思えました。またあいさつや返事を相手に聞こえるように、気持ちよくなる声でしたいです。  
(作文より一部抜粋)

「三学期の過ごし方」  
五年 増永 初華  
六年生になるのは楽しみだけれど、いろいろなせりがあります。意見はあるけれど、恥ずかしさや不安な気持ちがあり、すぐに発表できないので、今はそれをがんばりたいです。  
委員会の時に、自分は何をすればいいかわからないことがあるので、六年生の良い所を見て、工夫しながらがんばります。  
(作文より一部抜粋)

※ 「立場が人を育てる」という言葉があります。最上級生という立場に立つとこれまで以上の責任感が生まれ、できないこともできるようになるかもしれません。できることから精一杯やっていくことが大事です。

## もっとサイエンス



P T A授業参観時に3・4年生を覗くと「緑川の水の汚れ具合」についての発表が 있었습니다。パックテストと呼ばれる化学的な水質検査が主流ですが、棲んでいる水生生物の違いでも、ある程度水の汚れ具合がわかります。きれいな水では「カワゲラ、カゲロウ、トビケラ、カワガニ」等のなかま、水が汚くなると「ユスリカやチョウバエの幼虫、アメリカザリガニ、サカマキガイ」等のなかまが増えます。3・4年生はその生物を顕微鏡で探すところまで行ったみたいですが、肉眼でも確認できるので、機会があったらお家の人と一緒に川の石をめくって観察してみましょう。

## お知らせ

砥用ライオンズクラブ50周年ということで

『とび箱』を寄贈していただきました。まだ届いてはませんが、今後高学年の体育の授業等で活用させていただきます。ありがとうございました。

